



雪のためオンライン演説会がはまりました。

衆院選挙結果

(左表が小選挙区、右表は比例代表区)

	候補者氏名	得票数 (票)
1	うめたに守	3 6, 9 1 1
2	たかの直行	6, 8 8 9
3	たかと修一	4 4, 1 5 6
得票数計		8 7, 9 5 6
無効投票数 (票)		1, 1 7 1
投票総数 (票)		8 9, 1 2 7

投票者数 (人)	8 9, 1 2 8
----------	------------

	政党等名	得票数 (票)
1	日本共産党	3, 0 9 6
2	日本保守党	1, 8 2 0
3	国民民主党	7, 1 0 9
4	自由民主党	3 8, 2 8 8
5	社会民主党	1, 4 0 1
6	れいわ新選組	2, 3 0 2
7	参政党	6, 4 8 3
8	中道改革連合	2 1, 2 6 9
9	日本維新の会	4, 5 7 3
1 0	安楽死制度を考える会	2 9 6
1 1	減税日本-ゆうこく連合	9 5 4
得票数計		8 7, 4 9 1
無効投票数 (票)		1, 6 3 3
投票総数 (票)		8 9, 1 2 4

投票者数 (人)	8 9, 1 2 4
----------	------------

総選挙結果と今後について

残念なことになりました。2月8日に開票がおこなわれた総選挙の結果、日本共産党は、改選8議席から4議席という重大な後退をしました。

日本共産党中央委員会常任幹部会は9日に「総選挙の結果について」という声明を出し、「日本共産党をご支持いただいた有権者のみなさん、大雪や寒波のもとで奮闘いただいた全国の党員、後援会員、JCPサポーターのみなさんに心から感謝を申し上げますとともに、ご期待にこたえる結果が出せなかったことについて、おわびを申し上げます。私たちは、今度の選挙から深い教訓を引き出し、今後のたたかいに必ず生かし、次の機会には捲土重来（けんどちようらい）を果たす決意です」とのべました。そのうえで、「今回の総選挙の結果、憲法9条改悪をはじめ『戦争国家づくり』

を進めるという点で、戦後かつてない危険な状況が生まれています」「高市政権による強権政治を許さず、平和、人権、暮らし、民主主義を擁護し発展させるために、あらゆる分野で国民のたたかいを起こそうではありませんか」と呼びかけています。

私は長年、「住民こそ主人公」の立場で活動をしてきましたが、国政がどんな状況になろうとも生活現場で住民のみなさんの命と暮らしを守るために全力で頑張る決意です。当面は、豪雪対策、物価高騰対策、柏崎刈羽原発対策に力を注いでまいります。よろしくお願いします。

右上の表は、上越市における今回の総選挙の結果です。政権党が4割台の得票で7割の議席を取ることができる今の選挙制度は早く直してほしいものです。



【カランコエ】ベンケイソウ科の1属。原産地はマダガスカル島、南アフリカなど。草丈は15㍍～80㍍。人気がある園芸種で、いろんな種類のものがあります。花期は秋から春までと長期にわたります。花の色も赤だけでなく、白、ピンク、黄色などがあります。花言葉は「幸福を告げる」「たくさんの小さな思い出」「あなたを守る」「おおらかな心」など。写真は2月10日、直江津にて撮影しました。



大雪に災害救助法が4日、適用されました。これを受けて私は翌日、大島区の大島、菖蒲地区などに入りまし。要援護世帯など支援が必要な民家の除排雪がどうなっているか、どうを自分の目で見ておきたかったからです。熊田では、小型除雪機だけでは大雪に対応できない状況（写真）を確認してきました。道路除雪は急ピッチで進められていました。

大島区に災害救助法が4日、適用されました。これを受けて私は翌日、大島区の大島、菖蒲地区などに入りまし。要援護世帯など支援が必要な民家の除排雪がどうなっているか、どうを自分の目で見ておきたかったからです。熊田では、小型除雪機だけでは大雪に対応できない状況（写真）を確認してきました。道路除雪は急ピッチで進められていました。

災害救助法適用後の大島区へ



2月5日、吉川区で子育てしたコウノトリのペア（夫婦）が再び吉川区に戻ってきました。雪が気になるようです。11日現在、また不在です。

はしづめ法一の活動レポート

No.2239 2026.2.15

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznysg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第八八六回

漬菜ご飯

遠い昔のことが目に浮かびました。丁子さんの実家のナガシ（台所）に子どもたちが集まっていて、釜の中に残っていたご飯を分け合って食べている光景です。

先日、市内の中山間地に住む丁子さん宅でお茶をご馳走になったときのことです。台所からサツマイモの丸干し一本と中ぐらいのどんぶりにハリハリ漬けを入れて持ってきた丁子さんが、「私、この冬、手紙を四通書いたわ」と話しました。

丁子さんは、自分の気持ちをしっかりと伝えたいとき、手紙に書いて伝える人だということを知っています。三十年ほど前から知っていました。

三十年ほど前というのは、私の叔父が労災病院に入院していたときのことです。そこで私は丁子さんの手紙を初めて見ました。宛先は私の叔母です。双方の連れ合いが同じところに入院している、そういう仲間として共に頑張りましょうね、といった励ましの手紙でした。手紙に書かれた文字がとても美しく、惚れ惚れしました。それとともに、叔父を看病する伯母への優しさに満ちた文章がとても印象的でした。

今回、丁子さんは手紙で何を伝えたかったのか。伝えなかった相手は一人ではなく、四人もいるのです。私から、「一人に出すだけでもたいへんなのに、いっぱい書きなつたね。いまの時代だから、手書きで手紙を書く人は少なくなっているし、喜ばれると思うけど……」そう切り出すと、丁子さんは手紙のことを語りだしました。

今回の手紙は自分の妹などキョウダイ・親戚のところへ出したとのこと、いずれも子ども時代の忘れられない思い出をそこに綴ったということでした。

丁子さんは戦前生まれの人ですが、戦前から戦後の十年ほどの間に生まれた人たちには共通して、いつも空腹感がありました。「とにかく何かを食べたい」、その思

いが頭から離れることがなかったのです。手紙の途中で私が一番引き付けられたのは、漬菜ご飯のことです。

丁子さんの実家では、土で作った「かまど」を使い、ご飯を炊いていたそうです。

子どもたちがお腹を空かしていたとき、あてにしていた食べ物の一つは釜の中の残りご飯でした。そのほとんどは「おこげ」です。丁子さんは釜の残りご飯を削り、そこに細かく切った野沢菜漬けを入れてかき混ぜました。そこにちよっぴり醤油をたらしました。丁子さんは、「いまだったら、

「花かつお」だとか「しらす」を使うんだろうけどね。昔はそんなもん、なあもないねかね……。でもね、その醤油をたらした

ががじつにうまかった」と丁子さんは言いました。釜の中でよく混ぜた漬菜ご飯は、丁子さんが小さな皿に盛ってみんなに分けました。うまかったことは言うまでもありません。

私たちが住んでいる雪国の家では野沢菜漬けは貴重な食べ物で、どこの家でも大事にしています。丁子さんは、「昔は野沢菜、いっぱい漬けたんだわ。終（しまい）には春になると、桶の中に逆さになって入り、最後のやつだしてさ、食べたことね……」と言っていました。それほど重要な食べ物だったのです。

家に帰って、丁子さんの漬菜ご飯のことを改めて振り返りました。丁子さんの五人キョウダイが数十年前、「ナガシ」で漬菜ご飯を食べていたとき、みんな真剣な表情で食べておられたのではないのでしょうか。懐かしく、素敵な光景です。その五人はいまもお元気だとか。

私も野沢菜漬けは大好きです。すでに二人の弟を亡くしている私にとって、漬菜ご飯であろうがカレーライスであろうが、キョウダイみんながそろい、食べていた光景はいつまでも忘れられません。

公の施設の適正配置などで議論

市議会総務常任委員会は10日、所管事務調査を行いました。今回は公共施設等総合管理計画に基づく取組についての調査です。市が公の施設の適正配置、適正管理、受益者負担について一定の方向性を示し、質疑を行いました。

計画は令和3年度から始まっていて、令和12年度までの10年計画です。ちょうど前期計画から後期計画へと進む段階に来ています。施設の老朽化や利用者の減少などが進み、令和13年度からの次期計画を視野に入れた検討が求められています。このなかで市は、「これまでは、どういう施設を廃止し

ていくかを追求してきた」「これからは将来的に必要な施設は存続するまちづくりの観点で取り組んでいく」などとのべ、一定の方針転換とも思える提案をしました。

私からは、「昨年市長が交代したが、子どもセンターなどの公約もある。公約を受け入れていくようになっていくか」「蛍光灯の生産は来年度末で終わるし、輸出入もできなくなるという問題がある。単なるLED化の問題ではなく、今後の施設管理の大事な要素の一つとなる。住民サービスに影響が出ないように取組がなされているか」などと質問しました。

行政側は、「市長がかかわっても受け入れられるようになっている。方針が転換されるならば、しっかり吟味して取り組むことになる」「まだLED化は半分にも達していない。順次LED化していくが、（生産中止）時期までにはきちんと対応していく」などとのべました。当然のことです。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月4日(水)	2月11日(水)
上越消防署	0.050	0.053
上越南消防署	0.030	0.040
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.057	0.063
東頸消防署	0.043	0.057
名立分遣所	0.050	0.060
高士分遣所	0.047	0.057

